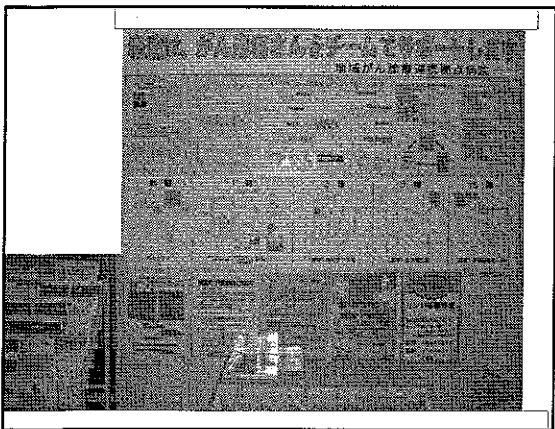
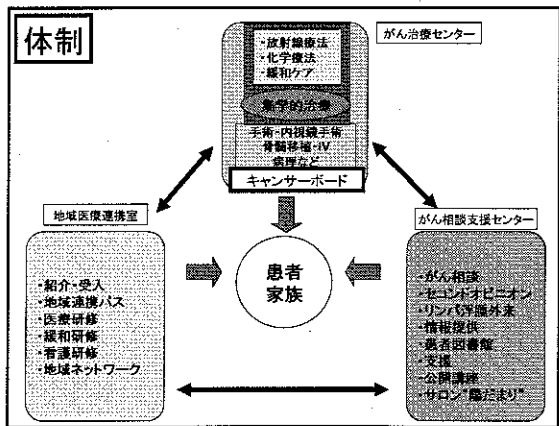
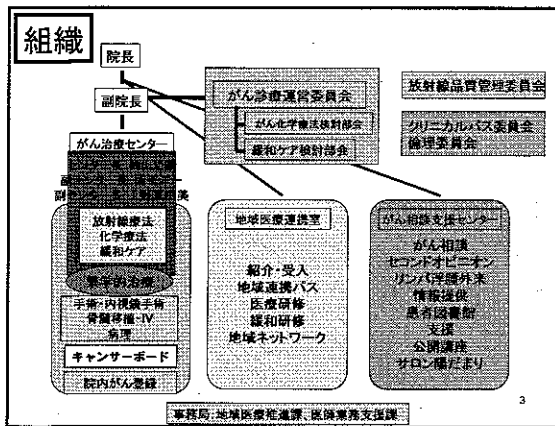




1. 組織・体制



2. スタッフ

スタッフ一覧【有専門資格者】

●医師		
	H20年度	H21年度
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	4名	7名
日本がん治療認定医機構 暫定教育医	3名	3名
日本乳癌学会 専門医	1名	1名
日本臨床腫瘍学会 暫定指導医	2名	2名
日本緩和医療学会 暫定指導医	0名	1名
マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ読影認定臨床放射線医師A評価	1名	1名
マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ読影認定臨床放射線医師B評価	3名	3名
精神腫瘍学基本教育指導医	0名	1名

●薬剤師		
	H20年度	H21年度
日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師	2名	1名
日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師	0名	育成中
日本病院薬剤師会 緩和ケア専門薬剤師	1名	1名
日本緩和医療学会 緩和薬物療法認定薬剤師	0名	育成中
●放射線技師		
	H20年度	H21年度
日本看護協会 がん化学療法看護認定看護師	1名	1名
日本看護協会 放射線ケア認定看護師	2名	2名
日本看護協会 緩和ケア認定看護師	0名	育成中
日本看護協会 緩和ケアナース認定研修修了者	0名	1名
国立がんセンター がん看護研修企業・研修修了研修修了者	0名	1名
●放射線技師		
	H20年度	H21年度
日本放射線看護学会 認定技師	2名	2名
放射線治療品質管理 放射線治療品質管理士	2名	2名
日本医学放射線学会 医学物理士	1名	1名
日本放射線治療専門放射線技師認定機構	3名	3名
マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ読影認定放射線技師B評価	1名	1名

記載の訂正		
	H20年度	H21年度
(1)職員数		
①職種別内訳		
医師	129名	140名
歯科医師	9名	10名
看護師	679名	692名
助産師	34名	39名
理学療法士	18名	21名
管理栄養士	11名	9名
②医師等の専門性		
総合内科専門医	10名	16名
感染症専門医	4名	0名
小児外科専門医、レーザー専門医、核医学専門医	各1名	0名
⑤その他の医療従事者		
診療管理部門の職員	22名	4名
(2)院内がん登録		
⑤ア、イ診療情報管理部門の専従・専任スタッフ数/内常勤	22名	2名

3. 院内がん登録



院内がん登録の現況

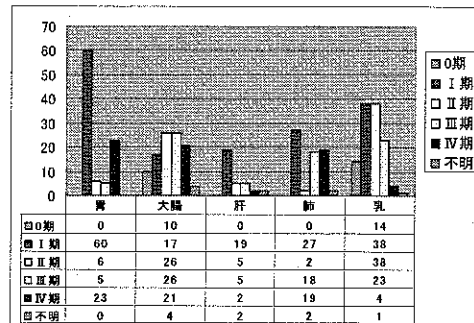
- ・ 開始：平成18年8月1日
- ・ がん登録実務者：専従1名、専任1名(育成中)
- ・ 基準：国際疾病分類腫瘍学第3版(ICD-O 3)
- ・ 方法：1腫瘍1登録
- ・ 項目数：93
- ・ システム：信州大学病院CRIMS
- ・ 死亡確認：当院、転院先施設、新聞など
- ・ 報告：国立がんセンターがん対策情報センター
- ・ 連携：信州大学病院(保健所との連携)(H22.1より)

がん登録(総計、5大癌、および肺癌)

年	H18年	H19年	H20年
登録総数	228	240	236
5大癌			
胃癌	51	148	104
大腸癌	53	112	118
肝癌	19	39	34
肺癌	55	107	90
乳癌	50	134	150
5大癌合計	228	540	496
%	46.8%	46.4%	42.0%
肺癌	18	32	34

登録開始日 平成18年(2006)年8月1日
入院・外来とも同時に登録を始める
「長野赤十字病院内がん登録規程」により登録を始める

5大癌ステージ別登録数(H20年)



院内がん登録に関する訂正

- ア、診断日から5年以内のフォローアップ率 はい → いいえ
を把握している
- ウ、がん登録データを分析して、ステージ別 5年生存率を把握している はい → いいえ
- エ、がん登録データをもとにして、治療関連 死亡患者数を把握している はい → いいえ
- オ、生存率の計算Kaplan-Meier法を用い て行っている はい → いいえ

4. キャンサーボード

7つのキャンサーボードチーム

チーム名	対象	業務内容	担当	達成率
消化器がん対策委員会	食道、胃、小腸、大腸、肝、胆膵、膵臓	消化器がんの診断、治療、フォローアップ	消化器がん診断、治療、フォローアップ	75%未満
肺癌対策委員会	肺がん	肺がんの診断、治療、フォローアップ	肺がん診断、治療、フォローアップ	75%未満
乳がん対策委員会	乳がん	乳がんの診断、治療、フォローアップ	乳がん診断、治療、フォローアップ	75%未満
泌尿器がん対策委員会	泌尿器がん	泌尿器がんの診断、治療、フォローアップ	泌尿器がん診断、治療、フォローアップ	75%以上
婦人科がん対策委員会	子宮頸がん、子宮体がん	婦人科がんの診断、治療、フォローアップ	婦人科がん診断、治療、フォローアップ	75%以上
皮膚がん対策委員会	皮膚がん	皮膚がんの診断、治療、フォローアップ	皮膚がん診断、治療、フォローアップ	75%以上
脳神経腫瘍対策委員会	脳神経腫瘍	脳神経腫瘍の診断、治療、フォローアップ	脳神経腫瘍診断、治療、フォローアップ	75%以上
骨腫瘍対策委員会	骨腫瘍	骨腫瘍の診断、治療、フォローアップ	骨腫瘍診断、治療、フォローアップ	75%以上



キャンサーボード 消化器カンファレンス

5. 治療

5-1)手術

5-2)放射線治療

5-3)化学療法

5-4)集学的治療

19

5-1)手術

20

H20年度 5大癌手術件数

	手術	胸・腹 腔鏡手術	内視鏡 手術	経皮的 治療	合計
肺癌	19	17			36
胃癌	48	5	29		82
大腸癌	90	10	10		110
肝癌	18			17	35
乳癌	172				172

21

5-2)放射線治療

22

放射線治療件数

	H18	H19	H20
体外照射 (ライナック)	9026	9548	9401
腔内照射 (イリジウム)	56	103	65
合計	9082	9651	9466

23

新規導入放射線治療器機



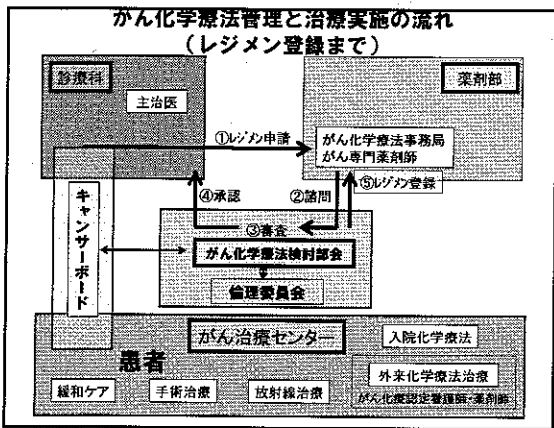
- ・強度変調放射線治療 (IMRT) ができる。
- ・CTと同じ機能があり病巣に的確に照射できる。
- ・通常の外照射ができる。

24



5-3) 化学療法

28



がん化学療法レジメンのエビデンスレベル

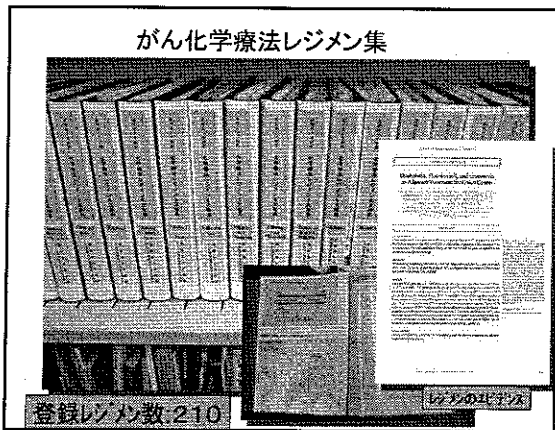
レベル A-1	国内において標準的な治療の一つとして認められ、標準治療と同等であるが、海外での検証が不足している。	P3
レベル A-2	海外において標準的な治療の一つとして認められ、国内での検証が不足している。	
レベル B-1	標準的な治療と同等であることが認められ、海外での検証が不足している。	P2
レベル B-2	標準的な治療と同等であることが認められ、国内での検証が不足している。	
レベル C-1	標準的な治療と同等であることが認められ、国内での検証が不足している。	P2
レベル C-2	標準的な治療と同等であることが認められ、国内での検証が不足している。	
レベル D-1	標準的な治療と同等であることが認められ、国内での検証が不足している。	P2
レベル D-2	標準的な治療と同等であることが認められ、国内での検証が不足している。	
レベル E-1	標準的な治療と同等であることが認められ、国内での検証が不足している。	P2
レベル E-2	標準的な治療と同等であることが認められ、国内での検証が不足している。	
レベル F	標準的な治療と同等であることが認められ、国内での検証が不足している。	P2

審査承認用

国内で標準的であるか
海外で標準的であるか
国内で標準的であるか
海外で標準的であるか

当院オリジナル

28



がん化学療法レジメン集

長野赤十字病院 がんレジメン一覧表

No	レジメン	使用薬剤	投与量	投与日	投与回数/周期	備考
1	TS-1 療法	TS-1	80 mg/m ²	Day 1-14	4週ごと	A-1
2	TS-1+CDDP 療法	TS-1	80 mg/m ²	Day 1-14	4週ごと	B-1
		シスプラチン	80 mg/m ²	Day 8		
3	TS-1+CPT-11 療法	TS-1	80 mg/m ²	Day 1-14	4週ごと	C-1
		イリリチカ	125 mg/m ²	Day 1, 15		
4	TS-1+DOC (DTX) 療法	TS-1	80 mg/m ²	Day 1-14	4週ごと	C-1
		ドセタキセル	80 mg/m ²	Day 1		
5	TS-1+IXL (PTX) 療法	TS-1	80 mg/m ²	Day 1-14	4週ごと	C-1
		パクリタキセル	50 mg/m ²	Day 1, 8		
6	CPT-11+DOC (DTX) 療法	イリリチカ	125 mg/m ²	Day 1, 8	4週ごと	B-1
		ドセタキセル	80 mg/m ²	Day 1, 8		
7	CPT-11 療法	イリリチカ	125 mg/m ²	Day 1, 8, 15	4週ごと	C-1
8	DOC (DTX) 療法	ドセタキセル	80 mg/m ²	Day 1	4週ごと	B-1
9	TAM (PTX) 療法	パクリタキセル	70-90 mg/m ²	Day 1, 8, 15	4週ごと	C-1
10	S-FU 療法	S-FU	800 mg/m ²	Day 1	4週ごと	C-1
11	レンチナン 療法	レンチナン	2mg/body	Day 1	4週ごと	C-1

当院の緩和ケア提供体制

- 緩和医療
 - 緩和ケアチーム
 - 緩和ケア外来
 - 在宅緩和ケア
 - 院内連携
- 患者支援
- 研修体制
- 地域連携
- スタッフ育成

専任医師 1、専任看護師 1
専任看護師 1、専任薬剤師 1

チームカンファレンス(毎週火曜日)

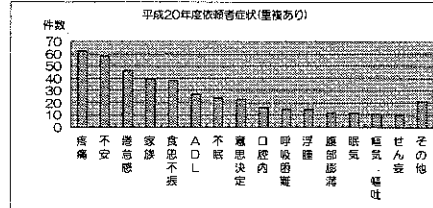
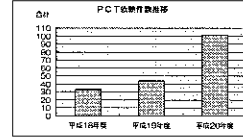
オンコイド・在宅緩和ワウンド(毎週木曜日)

退院前カンファレンス(随時)

退院調整
受療管理を含めた在宅移行、転院

ワウンド(随時)

実績



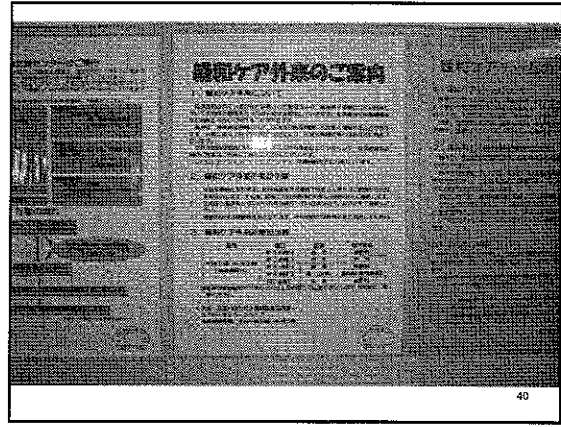
当院の緩和ケア提供体制

- 緩和医療
 - 緩和ケアチーム
 - 緩和ケア外来
 - 在宅緩和ケア
 - 院内連携
- 患者支援
- 研修体制
- 地域連携
- スタッフ育成

毎週金曜日 13時～15時

曜日	医師	専門
第1金曜日	赤澤	麻酔科
第2金曜日	市川	内科
第3金曜日	赤澤	放射科
第4金曜日	横山	精神科
第5金曜日	赤澤	放射科

緩和ケア外来のご案内



当院の緩和ケア提供体制

- 緩和医療
 - 緩和ケアチーム
 - 緩和ケア外来
 - 在宅緩和ケア
 - 院内連携
- 患者支援
- 研修体制
- 地域連携
- スタッフ育成

訪問看護新規受入れ患者
中のがん患者の割合

	計	がん	%
H18年度	372	48	18
H19	318	38	12
H20	319	49	15

看取り患者の33%はがん

当院の緩和ケア提供体制

- 緩和医療
 - 緩和ケアチーム
 - 緩和ケア外来
 - 在宅緩和ケア
 - 院内連携
- 患者支援
- 研修体制
- 地域連携
- スタッフ育成

ペインクリニック(疼痛緩和)
放射線科(疼痛緩和)
リハビリテーション科(リンパ浮腫)
精神科・臨床心理(心のケア)
口腔外科(口腔ケア)
NST・栄養科(栄養・嚥下・胃腸)
スキンケアチーム WOCN
(褥瘡・人工肛門・尿管)

当院の緩和ケア提供体制

1. 緩和医療

- ・緩和ケアチーム
- ・緩和ケア外来
- ・在宅緩和ケア
- ・院内連携

がん相談支援センター
市民公開講座など情報提供
サロン「陽だまり」支援

2. 患者支援

3. 研修体制

4. 地域連携

5. スタッフ育成

当院の緩和ケア提供体制

1. 緩和医療

- ・緩和ケアチーム
- ・緩和ケア外来
- ・在宅緩和ケア
- ・院内連携

北信緩和ケアセミナー
がん診療研修会
がん看護研修会

2. 患者支援

3. 研修体制

4. 地域連携

5. スタッフ育成

北信がん診療緩和ケアネットワーク
北信在宅緩和ケアネットワーク
長野市在宅ケアホスピス地域連携バス

当院の緩和ケア提供体制

1. 緩和医療

- ・緩和ケアチーム
- ・緩和ケア外来
- ・在宅緩和ケア
- ・院内連携

育成中

緩和ケア認定看護師
緩和薬物療法認定薬剤師

2. 患者支援

3. 研修体制

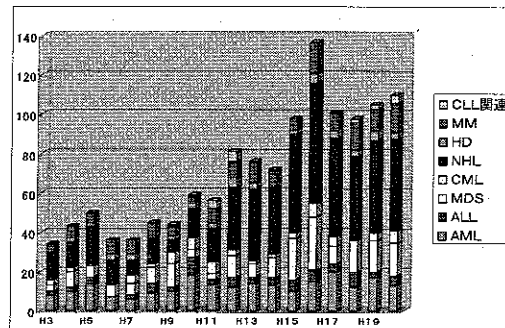
4. 地域連携

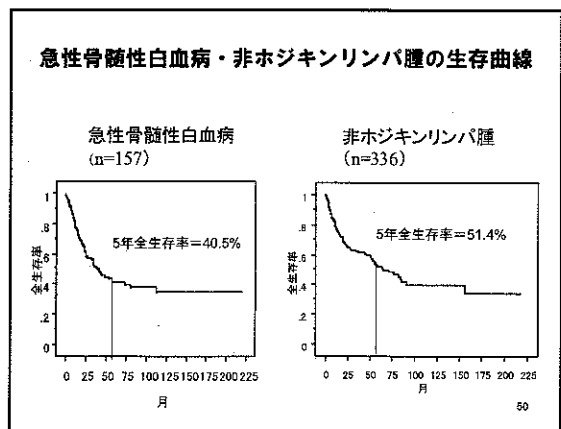
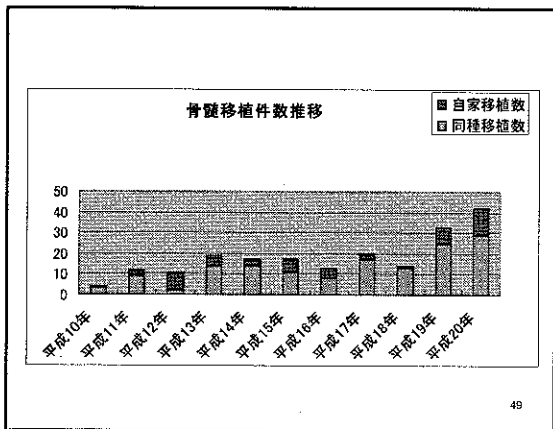
5. スタッフ育成



7. 骨髄移植センター

造血器悪性疾患患者数の推移





8. 地域連携

51

地域連携クリニカルパスの運用実績

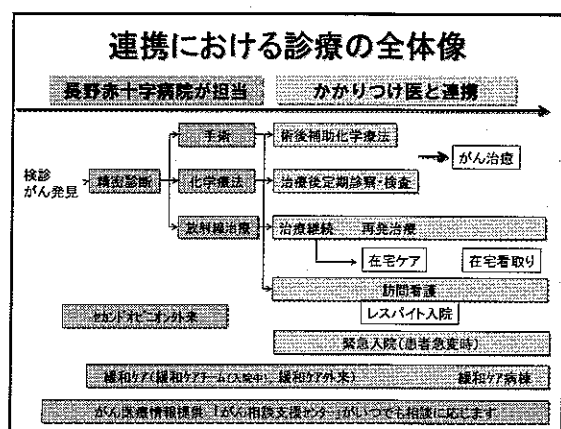
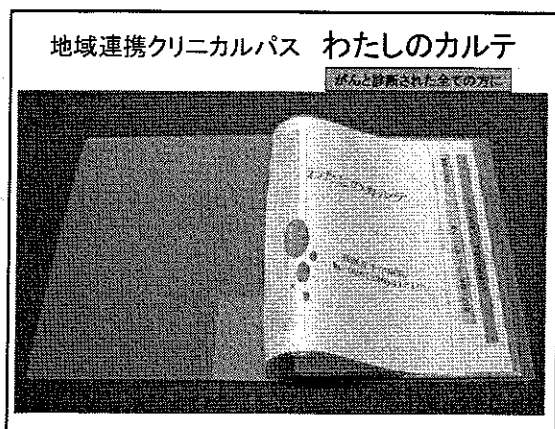
平成19年6月、地域連携クリティカルパスの運用開始

- 胃がん 17件
- 大腸がん 13件 に適応

平成21年3月、長野市民病院との共通パスを使用開始

- 胃がん 6件
- 大腸がん 8件 に適応 適応件数 計44件

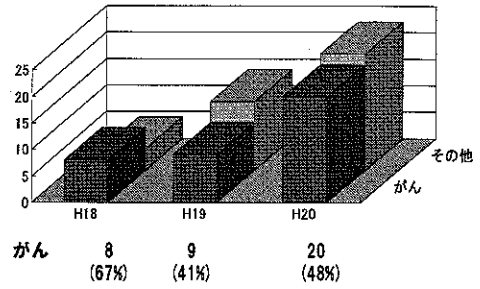
紹介先 29施設(内長野2次医療圏28施設)



10. セカンドオピニオン外来

61

がんに関するセカンドオピニオン件数



62

11. サロン“陽だまり”

63



12. 研修会

65

医療者向け研修会実施状況

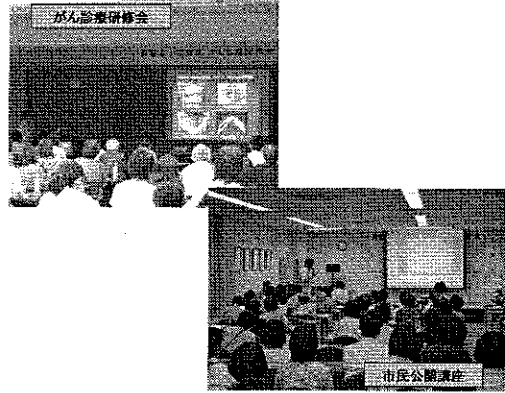
年	回数	参加人数
H18年	2	237
H19年	7	532
H20年	7	432
H21年	4	278

66

がんに関する市民公開講座

日時	場所	テーマ	講師 (参加数)
H20.2.16	院内	肝がん	院長 (127)
H20.3.27	院内	ユータンの闘病記	小西博之 (150)
H20.9.11	院内	大腸がん	楠山治嗣 (150)
H21.5.18	院内	リンパ浮腫	岡田金子 (99)
H21.8.4	院内	がん予防の食事	米養謙
H21.8.8	院内	がん治療と口腔ケア	横林
H21.8.29	ホクホール	がん医療について	垣蓮名誉部長
H21.9.12	院内	患者の介護	長門裕之
H21.9.19	院内	がんは予防できる	院長
H21.10.17	若里ホール	胃がん・大腸がん・肝がん	清山・楠山・熊田
H21.12.	メルパルク	がんのリハビリテーション	辻(慶應准教授)

67



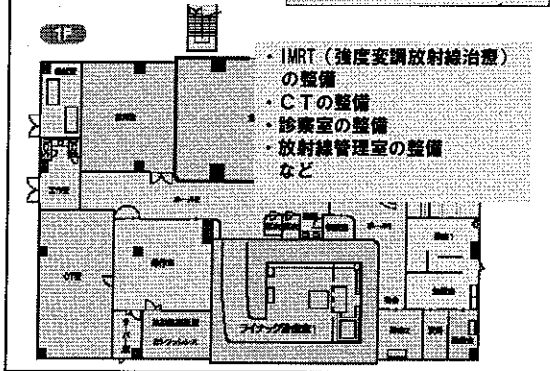
13. がん治療センター

69

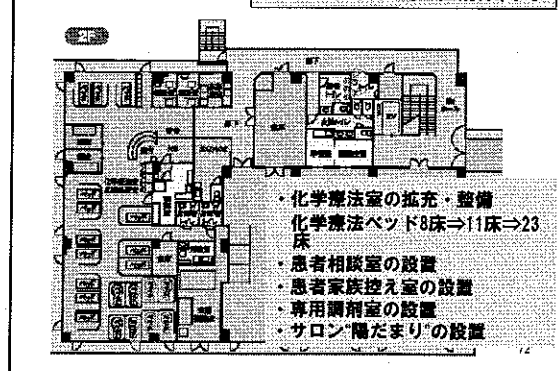


70

1F 放射線治療部門



2F 外来化学治療部門



課題

- 集学的治療の推進
- 専門スタッフの更なる養成(腫瘍医、緩和ナースなど)
- 緩和ケアの更なる充実
- 地域連携の推進(バス、緩和)
- 研修の充実
- 広報・情報発信の拡大
- がん登録、治療成績、死亡情報などフォローアップが必要

73

補足説明

- 施設基準:特定集中治療室管理料(A301)
36床⇒0床
- 医療機器治験審査委員会 あり ⇒ なし
- 遠隔医療システム 遠隔画像診断 あり ⇒ なし
在宅療養支援 あり ⇒ なし
- (社)日本感染症学会 感染症専門医4人⇒0人
- 日本小児外科学会 小児外科専門医1人⇒0人
- 日本レーザー医学会 レーザー専門医1人⇒0人
- 日本核医学会 核医学専門医1人⇒0人
- 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医1人⇒0人

74

緩和ケアの提供体制

- 地域の広報誌等で広報している はい ⇒ いいえ
- 緩和ケアチームにおいて精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する専従医師数 1人⇒0人
- 緩和ケアチームに協力する常勤の専従の医療心理に携わる者の数 1人⇒0人
- 画像診断 ア 診断のダブルチェックを行っている
はい ⇒ いいえ
- セカンドオピニオンの提示体制
広報手段 その他の方法で掲載している はい ⇒ いいえ

75

院内がん登録

- ア、診断日から5年以内のフォローアップ率を把握している
はい ⇒ いいえ
- ウ、がん登録データを分析して、ステージ別5年生存率を把握している
はい ⇒ いいえ
- エ、がん登録データをもとにして、治療関連死亡患者数を把握している
はい ⇒ いいえ
- オ、生存率の計算Kaplan-Meier法を用いている
はい ⇒ いいえ
- 診療情報管理部門の専従スタッフ数
21人 ⇒ 2人

76

- 臨床研究等を行っている場合は、………
進行中の臨床研究の概要………広報してる
1、院内の見やすい場所に掲示してる
はい ⇒ いいえ

院内で実施している臨床研究治験に関して…
FAXで対応している はい ⇒ いいえ
e-mailで対応している はい ⇒ いいえ

以上 当院の理解不足によるものです。
訂正いたします。

77